

2023年2月22日

お客様各位

日本農薬株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記
適用拡大 2023年2月22日付（3件）

(1) 日農アグロスリン水和剤

登録第 16585 号

- ① 作物名の変更:「なばな」⇒「なばな類」
- ② 適用病害虫名の追加:うめ/モモヒメコバイ(2000倍)
おとう/カメシ類(1000倍)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シベルメリンを含む農薬の総使用回数
なばな類	アブラムシ類	1000倍	100～300 ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
うめ	アブラムシ類 モモヒメコバイ	2000倍	200～700 ℓ/10a				
おとう	カメシ類 ショウジョウバエ類 オウトウハマダラミバエ	1000倍		収穫3日前まで	2回以内		2回以内

【追加する注意事項】

- ・ 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- ・ みずかけな(水掛菜)に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用すること。また、使用后 14 日間は入水しないこと。

【変更する注意事項】

- ・ 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(2) フジワン粒剤

登録第 13276 号

①使用量の変更: りんご(野ソ食害忌避) / 200g/樹 ⇒ 100~200g/樹

②使用量、使用方法の追加: りんご/野ソの食害忌避、

 高密度植わい化栽培で使用する場合は100~200g/m²、根雪前、

本剤の所定量を樹列を中心に1mの幅の範囲に土壌と均一に混和する。

【変更後】

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロオランを含む農薬の総使用回数
りんご	野ソの食害忌避	100~200g/樹	根雪前	2回以内	本剤の所定量を樹冠下半径約50cmの範囲の土壌と均一に混和する。	2回以内
		高密度植わい化栽培で使用する場合は100~200g/m ²			本剤の所定量を樹列を中心に1mの幅の範囲に土壌と均一に混和する。	

【変更する注意事項】

- ・ むれ苗防止に使用する場合は次の事項に注意すること。
 - ① 本剤は育苗中の低温による根の吸水低下や高温による蒸散増加など、吸水と蒸散の不均衡によって起こるむれ苗(生理的な急性萎凋障害)に対して有効であるので、このようなむれ苗の発生する地域で使用する。
 - ② 本剤は苗立枯病には効果がないので、育苗に際して苗立枯病が発生するおそれがある場合は、それらに有効な薬剤と体系処理をすること。
 - ③ 本剤は、は種前又は苗の緑化始期にいずれか1回処理すること。
- ・ 野ソの食害忌避に使用する場合は、次の事項に注意すること。
 - ① 樹冠下半径約50cmの範囲の落葉等をあらかじめ取り除いてから処理すること。
 - ② 植栽の樹間が1m以下(高密度植わい化栽培)で使用する場合は、樹列当たりの使用量を量り取り、樹列を中心に1mの幅の範囲に使用すること。
 - ③ 忌避剤以外の物理的な防除方法など他の防除法と併用して使用することが望ましい。

(3) コルト顆粒水和剤

登録第 22797 号

①適用病害虫名の追加: 茶(マダラカサハラハムシ)／2000倍、散布

②使用方法の追加

かんきつ／16倍(4ℓ/10a)、20倍(5ℓ/10a)、40倍(10ℓ/10a)、無人航空機による散布

はくさい、レタス、非結球レタス／24倍(1.6ℓ/10a)、30倍(2ℓ/10a)、48倍(3.2ℓ/10a)、無人航空機による散布

ねぎ／16倍(1.6ℓ/10a)、20倍(2ℓ/10a)、32倍(3.2ℓ/10a)、無人航空機による散布

チューリップ／40～120倍(3ℓ/10a)、無人航空機による散布

③希釈倍数の追加

キャベツ／20倍(2ℓ/10a)、32倍(3.2ℓ/10a)、無人航空機による散布

ブロッコリー／32倍(2ℓ/10a)、50倍(3.2ℓ/10a)、無人航空機による散布

てんさい／40倍(2ℓ/10a)、64倍(3.2ℓ/10a)、無人航空機による散布

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピリフルキナゾンを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アブラムシ類	16 倍	4ℓ/10a	収穫前日まで	3 回以内	無人航空機による散布	3 回以内
		20 倍	5ℓ/10a				
		40 倍	10ℓ/10a				
	アカマルカイガラムシ	2000 倍	200～700ℓ/10a			散布	
	カイガラムシ類(アカマルカイガラムシを除く)	2000～3000 倍					
	チャノキイロアザミウマ コナジラミ類 ミカンハエ成虫	3000 倍					
アブラムシ類	4000 倍						
てんさい	アブラムシ類	32 倍	1.6ℓ/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	無人航空機による散布	3 回以内
		40 倍	2ℓ/10a				
		64 倍	3.2ℓ/10a				
		4000～6000 倍	100～300ℓ/10a			散布	
キャベツ	アブラムシ類	16 倍	1.6ℓ/10a	収穫前日まで	3 回以内	無人航空機による散布	3 回以内
		20 倍	2ℓ/10a				
		32 倍	3.2ℓ/10a				
		3000～4000 倍	100～300ℓ/10a			散布	
	ネギアザミウマ	3000 倍					



作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ピリフルキナゾン を含む農薬の 総使用回数									
ブロッコリー	アブラムシ類	25 倍	1.6ℓ/10a	収穫前日 まで	3 回以内	無人航空機 による散布	3 回以内									
		32 倍	2ℓ/10a													
		50 倍	3.2ℓ/10a													
		4000 倍	100～300ℓ /10a													
はくさい		アブラムシ類	24 倍	1.6ℓ/10a		収穫 3 日 前まで		3 回以内	無人航空機 による散布	3 回以内						
			30 倍	2ℓ/10a												
			48 倍	3.2ℓ/10a												
			4000 倍	100～300ℓ /10a												
レタス		アブラムシ類	24 倍	1.6ℓ/10a		収穫前日 まで			3 回以内		無人航空機 による散布	3 回以内				
			30 倍	2ℓ/10a												
			48 倍	3.2ℓ/10a												
			3000～ 4000 倍	100～300ℓ /10a												
非結球レタス	アブラムシ類		24 倍	1.6ℓ/10a	収穫 7 日 前まで	3 回以内	無人航空機 による散布				3 回以内					
			30 倍	2ℓ/10a												
			48 倍	3.2ℓ/10a												
			3000～ 4000 倍	100～300ℓ /10a												
ねぎ			アブラムシ類 ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	16 倍	1.6ℓ/10a		収穫 3 日 前まで	3 回以内		無人航空機 による散布			3 回以内			
				20 倍	2ℓ/10a											
				32 倍	3.2ℓ/10a											
				2000 倍	100～300ℓ /10a											
茶		クワシロカイガラムシ チャノミドリヒメコバエ チャノキイロアザミウマ チャトケコナジラミ アブラムシ類 ツマグロアオカスミカメ マダラカサハラハムシ		2000～ 3000 倍	1000ℓ/10a		摘採 7 日 前まで		2 回以内	散布		2 回以内				
					200～400ℓ /10a											
				2000 倍												
チューリップ ^o	アブラムシ類			40～120 倍	3ℓ/10a	発生初期	4 回以内			無人航空機 による散布	4 回以内					
				4000 倍	100～300ℓ /10a											
花き類・観葉植 物(チューリップを 除く)						アブラムシ類 コナジラミ類				4000 倍				100～300ℓ /10a	発生初期	4 回以内

* 注意事項の変更はありません。

以上